令和6年度 学校評価

- 4 十分できている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 できていない。改善を要する
- 直接担当していないので判断が困難

実践目標	教師	保護者			生徒		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
1.学校の取り組みを保護者に紹介し、理解・協力を深める							
2.家庭や地域への情報発信							
3.卒業生の就労定着を行うと同時に、定着支援からの様々な気付きを在校生への指導に生かす							
4.「自分らしく働く」を実現するための取り組みを進める							
5.非常時の避難経路等の点検							
6.環境衛生に取り組み、安心安全な教育環境を整える							
7.地域と連携を図り、本校としてのセンター的機能の役割を果たす							
8.教育課程の編成							
9.校務処理の円滑化							
10.適切な実態把握に基づく、適切な指導を行う。							
11.いじめのない集団への取り組み							
12.行事、生徒会活動の主体的な取り組み							

令和6年度 学校評価

- 4 十分できている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 できていない。改善を要する
- 直接担当していないので判断が困難

実践目標	教師	保護者			生徒			
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	
13.保健教育を通して生徒の健康管理能力を高める								
14.人権意識を高めるための人権教育の推進の土台作りを行う								
15.職業自立につながる実践的な学習を行う								
16.実態を踏まえた段階表の作成を行う								
17.これからの時代に即応した情報教育の推進								
18. 1学年 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、自らの課題を明確にし、自ら考え主体的に行動することができる力を育てる			/				/	
19. 1学年 実践的体験的な学習活動を通して働くことの意義を理解し、職業への興味関心を深め意欲を育てる。また、取り組みや評価を通して自分の能力や適性を知る			/				/	
20. 2学年 集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ合意形成を進め、仲間と共に協力して実践する。多様な人々と共生する態度を身につける		/				/		
21. 2学年 職業体験実習及び授業の中で自らの課題や目標を明確にし、「自分らしく」働くことを意識して、専門的な職業能力を高める		/				/		
22. 3学年 生活経験の幅を広げ、卒業後の社会生活へスムーズに移行ができることを目指す		/				/		
23. 3学年 職業・社会生活を意識した自己決定力の育成と、主体的に自立した生活を営むことができる力を身につける		/				/		